

委員会より H17年 全国女性建築士連絡協議会に参加して

女性委員会委員長 河野 房子

昨年12月2日(金)・3日(土)、香川県高松市のサンポートホール高松で、「全国女性建築士連絡協議会」が開かれました。今年度の参加者は277名。広島からは、呉地区支部の藤原さん、福山支部の長岡さん・坂本さん・大角さん・大賀さん、そして私の計6名が参加してきました。

2日(金)は「地域と共生する住環境づくり」をテーマにしたシンポジウムが開催されました。その前に全国委員長会議があり、46都道府県の委員長と連合会の役員11名で会議を行いました。

連合会の「政策・組織・財政改革」の提言について、いろいろありましたが従来どおり、女性委員会等がそのまま残る可能性が大きくなったこと。そして、昨今の構造計算書偽造問題については、設計事務所の報酬の低さや不安定さを指摘する意見などがあり、各県の役所の設計料に対するとらえ方の温度差に、皆さん驚きの声をあげていました。

毎年、東京、地方の順に開催される大会ですが、今回はマスコミが登場するなど、いつもとは違う大会でした。



NHKのカメラマンが会議室に現れ、その後のシンポジウムは地元の瀬戸内放送の報道陣が終始撮影。少し緊張してしまいました。当夜、NHK香川のテレビニュースに福山支部の大角さんが映っていました。翌日、四国新聞の朝刊に「信頼回復へ努力—女性建築士連絡協」の見出しで、連合会の宮本委員長の写真付で「建築士が社会に果たす役割の重要性を再認識し、自身の研さんに努めていこう」と呼び掛け文が載っていました。



3日(土)は、8つのテーマで分科会を行いました。皆それぞれ希望の分科会に参加し、各県の活動状況を確認し合いながら自己研さんに



励みました。

勉強の後は遊びも必要です。私と藤原さんは、徳島県建築士会女性会員の案内で総勢40名余りが琴電に乗り継ぎ、「民家の博物館『四国村』&手打ちうどん」の見学会に参加し、讃岐うどんを堪能しました。誘導の香川県の女性会員さん、ありがとうございました。

四国各地から移築された民家33棟が当時のままで復元されており、散策しながら懐かしい(?)ひと時を過ごしました。写真は四国村にある「かずら橋」を渡っているところです。少し怖かったです。また、村の中に安



藤忠雄氏設計の美術館「四国ギャラリー」もあり、こちらも見学。どちらも個人の持ち物と知ってビックリ(正確には「財団法人」になっています)。

大勢の女性建築士が第一線で一生懸命がんばっています。そのためにも、今回の「構造計算偽造問題」の背景を徹底的に議論し、二度とこのようなことが起こらないようにすべきだと思っています。

MONTHLY 建築士

IROSHIMA



年頭のご挨拶

広島県建築士会会長 錦織 亮雄

2006年(平成18年)の年頭に当たり、広島県建築士会会員の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様とともに新年をことほぎ、希望に満ちた抱負を語りたい気持ちはやまやまですが、今年ほど年頭の挨拶に苦渋する年はありません。時代の変化と構造改革の荒波の中で、私たちの身边、特に建築に関わる世界が極度の混乱の中にあると考えるからです。

今、変革のやり玉の先頭に拳がっているのは、官僚主義と土着主義や閉鎖主義のように思われます。かつては極めて効率的に我が国の発展を支えたあらゆる官僚主義的な仕組みが、形式化し、非効率化、陳腐化、不透明化していることは誰の目にも明らかです。地球的な情報化の時代にあって、我が国に特に顕著な陋習的な土着主義や閉鎖主義が改められなければならないのも当然です。

しかしながら、この方向が正面切った改革ではなく、市場主義、自由競争、自己責任への軽薄な転換で、俗に言われる「官から民への責任転嫁」に陥っている上に、改革自体が表面的なため、改めるべき官僚主義も除くべき土着主義も湖塗されながら、その本質を残しています。まさに混乱の極みではないのでしょうか。そして、この改革のやり玉の固まりと目されているのが建築の世界であり、混乱のただ中にあるのも建築の世界です。

「土の上に環境の一部となる建物や都市を造る」という建築の世界は、国の形や文化の根幹を支えて半永久的に存在する重厚な実在です。その大きな存在は通常の商品とは異なって、市場主義や自由競争や自己責任で簡単に扱えるものではありません。昨年末に露呈した「構造計算書偽造事件」は、建築の世界に残る、官僚的形式主義・閉鎖主義など旧来の陋習をさらけ出しています。これまであり得なかった市場主義的な建築づくりシステムの存在をあらわにし、「ものづくり」の倫理消滅の現実すらあらわにし、自己責任では解決不能な現実を示し、建築の世界を超えて広く一般社会に強い衝撃を与えました。

今、私たち建築の世界は、あまりにも多くの問題を抱え込んでいます。建築法制・建築基準・確認制度・都市計画・まちづくり・景観造り・地球環境対応・設計理念・建築士資格・資格者監理・建築教育・建築団体のあり方・設計者選定・施工者選定・コスト管理・災害対応・そして建築士の暮らしなど不満足なものばかりです。これらはすべて、長年の懸案ながら簡単には解決も改革もできない、まさに「既存不適格」の山積みです。

この暗然たる問題山積みへの思いは、新年の所感に必ずしもふさわしいとは思えませんが、「構造計算書偽造事件」への深い反省の上に立って、官も民も、この世界に関与するすべてのものが、未来につながる「ものづくり」の視点に立って、どっしりとした建築界の改革に力を合わせる2006年にしようではありませんか。

建替計画では、広島市の玄関口にふさわしい顔としての都市づくり整備を図るために、総戸数203戸の都市型居住空間を創出することとした。

住棟は建物を4つの前面道路に沿って配置し、3棟による囲み配置形式とした。この住棟配置によって、広島駅に住棟の正面が向くことになるとともに、2つの広場を創り出しているのも本計画の特色となっている。屋上には地球温暖化防止対策につながる工夫として、屋上緑化とソーラーパネルによる発電システムを導入している。全住戸が高齢化対応となっている本住宅では、住民同士のふれあいと活気に満ちた生活がすでに始まっている。



表紙写真について

市営若草住宅

●設 計／広島市都市計画局建築部住宅整備課・設備課
(株)K構造研究所・(株)設備計画

●所在地／広島市東区若草町4番

●規 模／地上14階

●構 造／鉄骨鉄筋コンクリート造

●延べ床面積／18,273㎡

JR広島駅北口地区の整備を先導する、若草地区内での若草市営住宅建替計画である。

広島市東区の若草地区には1～7ブロックの街区に分かれて、若草市営住宅が建設されていた。本計画の対象区域は、この中で広島駅から最遠の位置にある1ブロックに設定された。1ブロックの街区には、昭和26・27年度に建設された、老朽化の著しい木造平家建ての市営住宅が建っていた。街路は当ブロックの周辺を巡っているが、緑に乏しい状況であった。本

新しい年を迎えて

広島支部

支部長 宮本 健司

新年を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。早いもので昨年のごあいさつを申し上げてから、1年が過ぎました。皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

昨年1年は、建築業界にとって激震が走った年でもありました。その中でも耐震構造偽装問題は、今までの建築業界の常識を覆すような事件であり、耳を疑う出来事でありました。またアスベストによる健康被害についても、大きく取りざたされた1年でもあります。

このような中、我々建築士には今まで以上の技術の発展とモラルの向上が求められると考えます。そのためにも、「継続能力開発(CPD)」や建築士の資格と技術を専門化する「専攻建築士制度」に、より一層の知識と技術を向上し、消費者から信頼されなければならないと考えております。

新年を迎えるに当たり、今年1年を皆様と共に建築を通じて社会に貢献できるよう、一層の努力をしまいたいと思っております。

呉地区支部

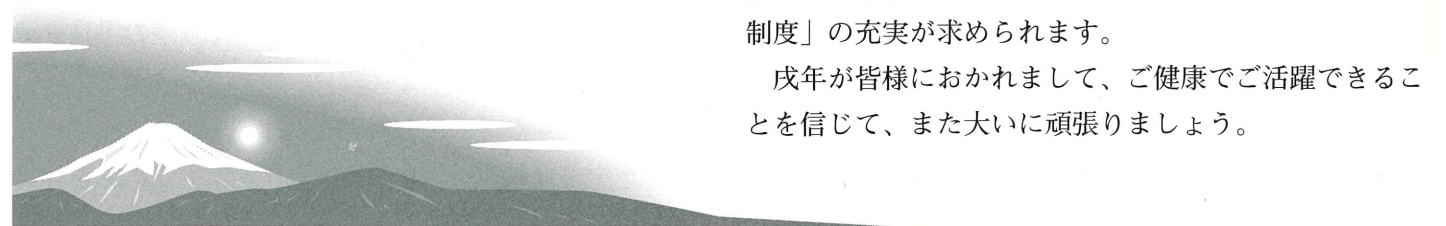
支部長 福原 安洋

新年おめでとうございます。旧年中には皆様のご協力の下、本部総会を無事終えることができました。ここで皆様に心より感謝申し上げます。

総会で皆様にもご覧いただきました「海事博物館(やまとミュージアム)」は、来客が多く、軍港「呉」がいまぞに多くの方々の胸の中にあることを実感しております。

呉地区支部の行事である「タウンウォッチング」では、呉市内の坂道や呉湾周辺の山腹道路を、これまで5回に分けて周回しました。景色の良い場所や、海事に関する歴史の跡も多く、飽きることがありません。皆様も散策されますよう、お勧めいたします。

今年は、昨年度の総会という大行事実施のエネルギーを引き継ぎ、これまで継続してきた建築セミナー(H17年度第22回「建築と身体」：千葉 学 先生)やタウンウォッチングの他にも、行事のさらなる活性化を目指していきたいと考えています。



東広島支部

支部長 梶津 圭右

あけましておめでとうございます。昨年の建築士会は、支部の活動を活発にという、本部の支援体制が整いました。特に、前にも増して充実した会報誌が届くようになり、各支部の情報が開放され、支部の活動状況が相互につかめるようになりました。

第48回建築士会全国大会が愛知で開催され、各県・各支部の会員が大会のテーマに沿って、自由な発想から個性ある作品を公開しました。「循環型社会における建築士の役割」、まさにこれからの建築士が進むべき問題を、的確にとらえた発表でした。広島県でも今年から、専攻建築士への登録が始まりました。建築士の仕事、役割の責任を明確にすることによって、社会の理解を求め、建築士の信頼を高めていかなければなりません。

一方、私たちの街づくりが叫ばれていますが、建築士会の役割はどこにあるのでしょうか。身近な問題として考えていきたいと思います。昨年11月に県本部主催の「まちづくり委員会」が東広島市で開催され、街づくりの意義を考え、提案をし、意見を交換しました。地域に根ざし、貢献できる建築士会、建築士ならではの活動を進め、街づくりへの参画、そして提案を行い、我が支部が東広島市の街づくりの一翼を担っていききたいと思います。

活力ある支部を実現するために、行事を創意工夫し、参加しやすい支部を求めて活動していきたいと思っています。皆様のさらなるご協力をお願いいたします。

三原支部

支部長 正尺 文夫

謹んで新年のお慶びを申し上げます。平成18年の新春を迎えるにあたり、まずもって旧年中の会員皆様にご理解とご協力をいただきましたことを心より感謝いたします。毎年のように、希望と期待をもって迎える新春でございます。

昨年、当会では「CPD・専攻建築士制度」の登録が始まりました。本年春には、広島県にも新「専攻建築士」が誕生します。しかしながら会員の皆様には、まだまだ内容が理解されていないようです。昨年11月の事件以来、建築士への信頼が疑われる今、自己研さんができる「CPD制度」の充実が求められます。

戊戌が皆様におかれまして、ご健康でご活躍できることを信じて、また大いに頑張りましょう。

新しい年を迎えて

尾道支部

支部長 元廣 清志

平成18年の新しい年がスタートしました。希望にあふれる年を迎えられたことと、慶賀に存じます。しかしながら、私たちの置かれている社会状況は、厳しく感じられてなりません。大きく変わろうとしている日本。今こそ戦後の状況から脱却して、真に私たちの社会を取り戻したいという思いの中から、きっと良い道が開かれることと思っております。

今こそ1人1人の頑張りを結集して、建築士会でなければできないことのあり様を見い出したいものです。尾道支部も各々には大変なご苦勞の中で、支部活動にお力添えをいただいております、活動そのものは、むしろ新しく発展しているかの様にも思えます。これは個々の自覚が表れているものと、大変ありがたく思います。

今年もよろしく願い申し上げ、新年のごあいさつとします。

因島支部

支部長 木村 隆治

新年明けましておめでとうございます。

多忙、多忙に追いかけて、落ち着いて物事を考えるといったことができないほど、気ぜわしい世の中になってしまいました。昨年1年を振り返ってみても、年初めから因島市の平成大合併論議が進み、本年より尾道市になります。因島市制50年経過とともに、広島県建築士会因島支部も創立40年を過ぎました。顧みますと、小さな支部が大きな支部と共に活動できましたことは、県本部や各支部よりのご助力のおかげ。現在まで続いてまいりましたことを感謝申し上げます。

今後につきましては、合併に伴う新市支部に帰属させていただき、何かとお世話になると思います。形態はより小さくなりますが、村上水軍見参因島会にして頑張りますので、ご声援の程よろしくお願い申し上げます。身を清め、心を正して、新春を迎える抱負とさせていただきます。今年も皆様ともども、良き1年でありますよう祈念いたします。

福山支部

支部長 河相 喜久男

2006年の新春を迎え、会員の皆様にはおめでとうございます。景気の方も昨年から今年にかけて上向いている状況であり、喜ばしいかぎりです。しかしながら、突如として発覚した偽造構造計算問題では、人の命を預かる仕事をしている私たち建築士のモラルが、大きく問われ

ています。人の心の弱さを、今更ながら自分の心にも問いかけてみなければなりません。

私たち建築士が地域にどう貢献し、関わっていくのか、福山支部では各委員会を中心に次の行動をしています。

○五月の福山ばら祭りへの企画からの参加運営（青年部）

○各メーカーを集めての建築展（事業委員会）

○建築関係講習会／地域事務所・福山市建築指導課・市消防局による講演

○見学会／神戸港震災メモリアルパーク、人と防災センター

○第8回建築なんでも探建隊「紙が変身ミニハウス」（女性部）

○住宅無料相談／昨年1月17日より、毎週月曜～金曜まで受け付けています。12月までに31件の相談がありました。悪徳リフォーム、施工中のトラブル、契約問題、耐震診断、欠陥住宅とその対策、増改築、バリアフリーなど、18名の相談員が2人1組で対応しています。

私たち建築士ができる事—社団法人であり技術者集団だからこそ、安心して市民の方々が相談できるのです。これからも地域貢献の一助として、士会員がもてる技術を発揮したいものです。今年もよろしくお願い申し上げます。

県北支部

支部長 磯井 和雄

新年明けましておめでとうございます。旧年中は、県北支部の事業活動に、ご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。おかげ様で、住宅相談会、アスベスト相談会、美術館見学会の開催、専攻建築士登録申請の予備審査など、諸事業を実施することができました。

昨年11月、専攻建築士の受け付けを開始した矢先に、耐震強度の偽装問題が発覚しました。1級建築士が構造計算書を偽造した事件は、企画・設計・審査・施工・販売に専門知識を有する建築士が深く関わっていました。そしてその責任の所在について問題の広がりを見せ始め、社会に不信と不安を与えてしまいました。社会に対する建築士の信頼回復には、建築士会の“建築士の綱領”を共通理念とし、継続能力開発や専攻建築士として資質の向上に努めること。さらに建築士の社会的使命である良質な建物の設計、監理、施工やまちづくり等の実務実績を積み重ね、社会貢献を実践し、建築士の存在を社会に示していくことが必要でしょう。

本年が皆様にとって良き年でありますよう、心より祈念し、新年のごあいさつといたします。

お知らせ

指定講習会のご案内

17年度の指定講習会を以下のとおり開催します。奮ってご参加ください。詳しいご案内・受講申込書は先月号の会報誌に同封しております。またホームページ< <http://www.k-hiroshima.or.jp/> >からもダウンロードできます。

●広島会場

日時：平成18年1月27日（金）10：00～17：00

会場：広島商工会議所

●福山会場

日時：平成18年2月3日（金）10：00～17：00

会場：福山土木建築会館

*受講料 当会会員 11,000円 一般 13,000円（テキスト代・税込）

支部だより

御調八幡宮の年末すす払いを終えて

三原支部 平川 英二

12月4日（日）、三原市八幡町の「御調八幡宮の年末すす払いと落ち葉清掃」が行われました。町内の老人クラブ、子ども会と、建築士会のメンバーを合わせて、約50人が参加しました。

参加のきっかけは、御調八幡宮の秋まつり。その時、宮司の桑原さんと話をさせていただく機会があり、「今年のすす払いは、老人クラブのメンバーで動ける人が少なく、子ども会も小学校のリサイクル活動と重なっているので何人参加していただけるか分からない」と言われました。そこで少しでも役にたちたいと考え、建築士会青年部に声をかけて参加させていただくことになりました。

当日は午前9時から落ち葉を集めたり、ごみを拾ったりしました。10時からは拝殿に入り「すす払い奉告祭」が行われ、体と心を清めてから白衣を羽織りました。そして先に葉を付けた長さ約4mの青竹製の「はたき」で、本殿・拝殿の順に、軒裏などの1年間のほこりを払い落としました。

また来年の1月には、御調八幡宮で三原市歴史的建造物調査研究会が建物の調査をさせていただくことになっております。「すす払いできれいになった御調八幡宮をみていただける」と、宮司の桑原さんはとても喜んでおられました。



あなたの作品で表紙を飾ってみませんか？

随時、表紙用の写真を募集しています。写真（プリント、ネガ、データ）2～3点を設計概要、設計趣旨（400字程度）と一緒に送ってください。会員の皆様からのご応募をお待ちしています。



社団法人 広島県建築士会

〒730-0042 広島市中区国泰寺町1-8-4 日興ビル3F

TEL (082) 244-6830(代) FAX (082) 244-3840

mail : info@k-hiroshima.or.jp

URL : <http://www.k-hiroshima.or.jp/>

2006 Information Calendar 1月・2月の行事予定

1 January

5 木・仕事始め

11 水・青年部会定例会（尾道支部）

12 木・新年互礼会・青年部役員会（県北支部）

13 金・女性部会定例会（福山支部）

17 火・被災建築物応急危険度判定連絡訓練

18 水・被災建築物応急危険度判定連絡訓練

19 木・青年部会定例会（福山支部）

20 金・幹事会（広島支部）
・役員会（尾道支部）

21 土・新年互礼会（福山支部）

27 金・指定講習会（広島）



2 February

1 水・広島支部ボーリング大会（広島ボウル）

2 木・福山支部ボーリング大会（キャッスルボウル）

3 金・指定講習会（福山）

4 土・見学会「歴史の街奈良」（広島支部）

5 日・見学会「歴史の街奈良」（広島支部）

8 水・青年部会定例会（尾道支部）

10 金・女性部会定例会（福山支部）

25 土・支部対抗ボウリング大会（賀茂ボウル）